

令和2年度東京都感染症医療体制協議会（第2回）意見概要

1 開催日（書面開催）

令和2年4月30日（木曜日）

2 議題

- (1) 都内の新型コロナウイルス感染症の患者発生動向について
- (2) 新型コロナ外来の設置状況について
- (3) 都内のPCR検査実施体制と実施可能件数について
- (4) 患者が増加した場合の各対策の移行について
- (5) 外来診療体制の移行について

3 意見書提出依頼

令和2年3月1日付けで厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部から発出された事務連絡「地域で新型コロナウイルス感染症の患者が増加した場合の各対策（サーベイランス、感染拡大防止策、医療提供体制）の移行について」により、外来診療体制を移行させる必要がある場合には、都道府県知事が協議会の場などを活用して関係者の意見を聴取しつつ判断するとされている。

そのため、各委員に対し、議題5「外来診療体制の移行について」以下3点のとおり意見を伺った。

(1) 外来診療体制の移行について

令和2年4月15日付で、厚生労働省から発出された事務連絡に示された対応策により、『帰国者・接触者外来』の増設及び対応能力向上策を図ることについて

(2) 移行の時期について

速やかに移行し、体制を整備することについて

※実際の移行については、体制が整備された地域から順次実施

(3) 移行の地域について

東京都全域を対象として移行することについて

※実際の移行については、体制が整備された地域から順次実施

4 意見書提出状況

委員総数36名の意見書提出状況は以下のとおりであり、口頭を含め全員から意見を徴した。

- (1) 意見書の提出 31名
- (2) 口頭での意見 5名
- (3) 回答なし 0名

5 意見概要（36名）

(1) 『帰国者・接触者外来』の増設及び対応能力を向上することについて、以下のような意見があった。

ア 意見なし・賛成 20名

イ 条件付きで賛成 8名

(検査結果等を一元管理できる仕組みを構築、かかりつけ医を外来診療体制に組み込み患者の安全・安心を確保、人員体制を確保 など)

ウ 反対 1名

(患者数が減少しているため、現行体制を縮小する状況)

エ その他 7名

(2) 速やかに移行し、『帰国者・接触者外来』の増設等することについて、以下のような意見があった。

ア 意見なし・賛成 29名

イ 条件付きで賛成 4名

(緊急度の高い地域から実施、人材や感染防護資機材等の確保を含め速やかに など)

ウ 反対 1名

(患者減少に併せて縮小が必要)

エ その他 2名

(3) 自宅療養及び宿泊療養を実施する場合、都内全域を対象とすることについて、以下のような意見があった。

ア 意見なし・賛成 27名

イ 条件付きで賛成 5名

(地域毎に移行時期を判断できるとよい、早期に足並みを揃えるようアナウンスが必要 など)

ウ 反対 1名

(縮小の時期も検討)

エ その他 3名